

中学地理プリント（過去問類似）

中国・四国地方

名前

得点

/7

問1 瀬戸内地域の降水量が、日本海側や太平洋側と比べて少ない理由を説明したものと、最も適切なものはどれですか。香川県高松市の年降水量が約1150mmであるのに対し、日本海側の鳥取市が約1930mm、太平洋側の高知市が約2660mmと大きな差がある統計的背景を踏まえて答えなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かずに乾いた風が吹き込むため。
2. 台風の主な通過経路から外れているため、年間を通じて湿った空気が流入しにくいから。
3. 周辺を流れる寒流の影響を強く受け、空気中の水蒸気が凝結して雲になりにくいから。
4. 内海であるため水面の蒸発量が少なく、上昇気流が発生しても雨雲が発達しないため。

問2 中国地方の製造業について、広島県では自動車などの輸送用機械の出荷額が大きな割合を占めるのに対し、山口県では約1兆9,780億円に達する化学工業の出荷額が、県内の他業種や近隣県と比較しても突出して高いという特徴があります。このような山口県の工業の形態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 臨海部に石油精製所や化学工場などが集まり、原料や製品を効率的にやり取りする石油化学コンビナートが形成されている。
2. 内陸部の広大な用地に、電子部品や半導体を製造する先端技術産業の工場が高速道路沿いに集積している。
3. 都市近郊の立地を生かし、食料品加工や印刷業など、消費地に近い利点を最大限に活用した中小工場が密集している。
4. 良質な鉄鉱石や石炭が近隣で産出されるため、それらを原料とした大規模な製鉄所を中心とする重工業が発展している。

問3 愛媛県産の養殖マダイの生産量と全国シェアの推移をまとめた資料では、1990年代半ばを境に生産量が増加傾向に転じています。この時期に起こった社会資本の整備と、それが産業に与えた影響について述べたものとして正しいものはどれですか。

（2023年 福井公立入試 類似）

1. 高速道路網と本州を結ぶ橋が整備されたことで、京阪神などの大都市圏に向けた迅速な出荷体制が整った。
2. 瀬戸内海の干拓が進んだことで、養殖いかだを設置するための静穏な海域が飛躍的に拡大した。
3. 四国内の鉄道網が電化・複線化されたことで、貨物列車による大量輸送が養殖業の主流となった。
4. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から安価な餌を大量に輸入できるようになり、生産コストが激減した。

問4 岡山県と東京の間の移動において、航空機の利用割合が約3.5割であるのに対し、鉄道の利用割合が約6割と高くなっています。このように鉄道が主要な移動手段となっている理由として、地理的な背景から説明したものと最も適切なものはどれですか。（2018年 愛媛公立入試 類似）

1. 新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため
2. 岡山県内には空港が整備されておらず、隣接する県まで移動する手間がかかるため
3. 東京との距離が非常に近く、航空機を運航させるための採算が取れない距離にあるため
4. 山陽新幹線の運賃が全国の他の路線と比較して極めて安く設定されており、経済的優位性が高いため

問5 2015年度の統計において、東京との間の移動手段の利用割合を調査したところ、航空機が35.8パーセント、バスが5.0パーセントであるのに対し、鉄道が59.2パーセントと半数を超えている県があります。このデータが示す県として正しいものを次から選びなさい。（2018年 愛媛公立入試 類似）

1. 岡山県
2. 北海道
3. 福岡県
4. 沖縄県

問6 日本の諸地域のうち、四国地方の都市とその特徴について述べた文として、高松市の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。
2. 明石海峡大橋を通じて兵庫県と結ばれており、四国東部の交通の拠点となっている徳島県の県庁所在地である。
3. 四国地方で最大の人口を抱え、古くからの温泉や城下町としての歴史を持つ愛媛県の県庁所在地である。
4. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、野菜の促成栽培が盛んに行われている高知県の県庁所在地である。

問7 四国地方に位置する徳島県の統計では、年間商品販売額が1999年の約2兆1千億円をピークに、2014年には約1兆3千億円まで減少しています。本州四国連絡橋の整備が進んだ時期に、このような統計結果が見られるようになった背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。
2. 交通網の整備によって物流のコストが下がり、地元で販売される商品の価格が全体的に安くなったため。
3. 交通網の利便性が高まった結果、地元の住民が買い物よりも観光に時間を割くようになり、消費が分散したため。
4. 交通網の整備により県外からの人口流入が急増し、供給過多となって地元の商店が競争に敗れたため。

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かずに乾いた風が吹き込むため。
- 日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地域は北側を中国山地、南側を四国山地に囲まれています。夏は太平洋からの湿った風が四国山地に遮られ、冬は日本海からの湿った風が中国山地に遮られます。その結果、山を越えて水分を失った乾いた風が瀬戸内側に吹き下ろすため、年間を通じて降水量が少なくなります。高松市の降水量が鳥取や高知に比べて大幅に少ないのは、この地形的要因によるものです。
- 問2** **答え 1**
臨海部に石油精製所や化学工場などが集まり、原料や製品を効率的にやり取りする石油化学コンビナートが形成されている。
- 山口県の瀬戸内海沿岸地域は、戦後の高度経済成長期に大規模な埋め立てが行われ、石油化学コンビナートが建設されました。これにより、原油の輸入からエチレンなどの基礎原料の製造、さらにはプラスチックなどの二次製品の生産までを一貫して行う体制が整っており、化学工業の出荷額が他業種に比べて圧倒的に多い産業構造となっています。広島県の輸送用機械や、岡山県の鉄鋼・石油化学など、瀬戸内工業地域は県ごとに特徴的な産業が集積しています。
- 問3** **答え 1**
高速道路網と本州を結ぶ橋が整備されたことで、京阪神などの大都市圏に向けた迅速な出荷体制が整った。
- 愛媛県の養殖マダイ生産量が1990年代半ばから増加したのは、本州四国連絡橋の開通とそれに続く高速道路網の整備が深く関わっています。自動車交通の進展により、鮮度を保ったまま迅速に輸送する物流のイメージが示す通り、産地から大都市の市場までの到達時間が短くなったことが、地方の主要産業である養殖業を活性化させる原動力となりました。
- 問4** **答え 1**
新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため
- 交通手段の選択において、利用者は「ドア・ツー・ドア（出発地から目的地まで）」の総所要時間を重視します。岡山県の場合、山陽新幹線の「のぞみ」を利用すれば東京まで約3時間10分程度で到着できます。航空機を利用する場合、搭乗手続きや羽田空港・岡山空港へのアクセス時間を考慮すると新幹線と同等か、場合によっては新幹線の方が早く目的地に到着できるため、鉄道の利用割合が高くなっています。
- 問5** **答え 1**
岡山県
- 東京から各都市への移手段の選択には、所要時間が大きく関係しています。一般に「4時間の壁」と呼ばれ、新幹線での所要時間が4時間以内であれば鉄道が、それを超えると航空機が有利になる傾向があります。岡山県は東京から新幹線で約3時間強の距離にあり、空港への移動や待ち時間を含めた航空機との比較において鉄道の利便性が高いため、鉄道が約6割という高いシェアを占めています。これに対し、北海道や福岡県は航空機の割合がより高くなります。
- 問6** **答え 1**
本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。
- 高松市は瀬戸大橋を通じて岡山県とつながっており、四国のなかでも特に本州との結びつきが強い都市です。他の選択肢はそれぞれ徳島市、松山市、高知市の特徴を述べています。四国地方の学習では、これら4つの県庁所在地の位置関係と、本州とのつながり方（ルート）の違いを理解しておくことが重要です。
- 問7** **答え 1**
大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。
- 交通網の整備は本来、地域経済の活性化を期待して行われますが、徳島県のように大都市圏（関西方面）に近い地域では、住民が大都市へ容易に行けるようになったことで、地元での消費が減少する事態を招きました。統計データに見られる販売額の減少は、交通の便が良くなったことで地方の購買力が大都市に吸い寄せられた結果であり、これをストロー現象と呼びます。人口減少や少子高齢化だけでなく、こうした交通網による外部への流出も、地方の消費に大きな影響を与えています。